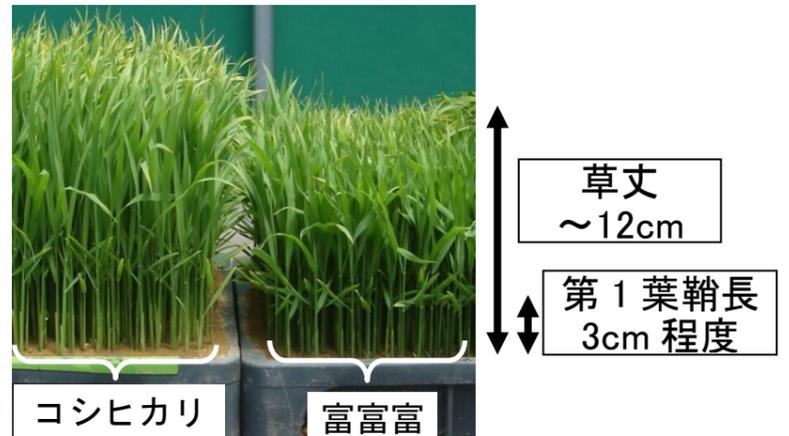


- 田植時期：5月15日に田植えをする場合は、育苗日数は19日を目安にしましょう！
- 基肥窒素量：「コシヒカリ」（収量レベル540kg/10a）の2割減を基本としましょう！
- 病害虫及び雑草防除：化学合成農薬の成分使用回数は12以内にしましょう！

育苗管理

- (1) 5月15日に田植えをする場合、老化苗を防ぐため、育苗日数（播種日から田植日）は19日を目安としましょう。
- (2) 浸種期間は「コシヒカリ」よりも1～2日長くし出芽揃いを良くしましょう。
- (3) 苗丈は「コシヒカリ」の9割程度のため（品種特性）、無理に丈を伸ばさず、がっしりとした苗質に仕上げましょう。



基肥量の適正な施用

基肥窒素量は「コシヒカリ（収量レベル540kg/10a）」の2割減を遵守しましょう。

【基肥の基準施用量の目安（側条施肥）】

単位：kg/10a

体系 肥料名	一発施肥体系 富富富 専用	分施肥体系 LP555-1号
砂壤土	28	18
沖積壤土	24	15
洪積壤土	20	15
粘質土	16	11

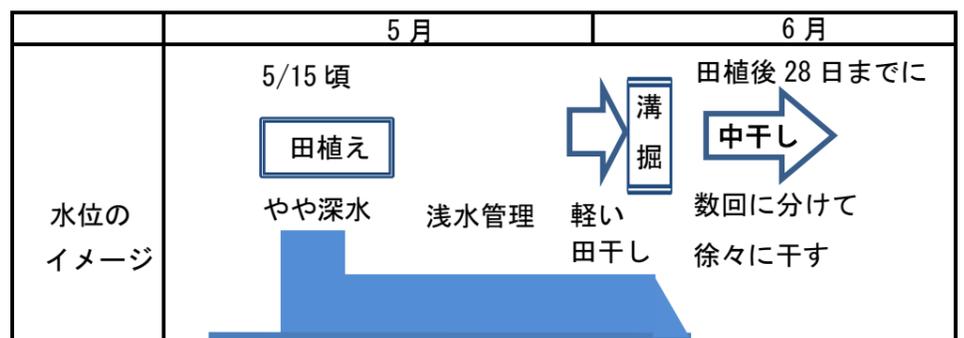
田植え

初期生育を確保するため、栽植密度は70株/坪以上、植付本数は3～4本/株、植付深さは3cm程度にしましょう。

田植後の水管理

- (1) 活着期：田植後3日間程度はやや深水にし植傷みを防ぎましょう。
- (2) 分けつ期：活着後は浅水管理にして分けつの発生を促進しましょう。

<水管理のイメージ>



病害虫及び雑草防除

- (1) 化学合成農薬の成分使用回数は12以内を遵守しましょう。
- (2) 代かきから田植までの日数は4日程度とし、雑草の防除に努めましょう。

○ご不明な点は JA 高岡担当営農指導員 または 高岡農林振興センター 高岡班 (26-8477) までお尋ねください。